

令和6年度 神戸市立泉台学校 学校評価報告書

校園長名

二井見 勝

記入者名

根来 政徳

学校の校目標	《教育目標》やさしく 強く しなやかに					
内容		重点的な取組み	評点 (4段階)	特記事項 (学校自己評価)	関係者評価 (学校自己評価に対する学校運営協議会の意見等)	学校自己評価、関係者評価を踏まえた 次年度の重点的な取組みの案
育てたい子供の姿	《教育努力目標》多様な考えを受け入れられる子供の育成					
	自分も周りも大切にできる子 思いやりの心で接することができる子 やさしさあふれる正しい言葉遣いができる子	相手を思いやる言葉遣いや相手を尊重するための指導	3	・学級活動や授業などで、お互いの良いところを認め合う活動を実施。 ・班活動など集団での活動機会を充実。	・SNSでの言葉の遣い方が気になる。学校での取組を家庭にもつなげていく必要性を感じる。	・全ての教育活動で子供たちの自尊感情を高める取組を学校全体で進める。 ・人権教育を柱として、自分も友達も大切にできる温かい人間関係づくりを進める。
	最後までやり通す強い子 元気でよく働く子 命の尊さに気付き大切に子	運動の楽しさに触れる体育学習の充実	3	・全校、朝の会で「今月の歌とダンス」を実施。 ・冬場の体力づくりの一貫として「なわとび検定」を実施。	・家庭でも楽しそうに歌ったりダンスをしたりしている。 ・寒い時期でも、熱心に縄跳びを練習する児童の姿を目にする。本校の特色である取組の一つと感じる。 ・自然と体を動かして体力がつくような取り組みがなされている。	・包括的性教育の取組は学校全体で継続していく。 ・学校での取組を保護者・地域にも積極的に発信する。 ・体育学習において、子供たちが思考する場面を意図的に設定する。
	柔軟な考え方もつ子 自分の考えを表現できる子 多様な考えを受け入れられる子	主体的で対話的な深い学びを目指した、自分の考えを伝え、学び合う集団の育成	3	・6年間を見通した包括的性教育カリキュラムを作成。 ・教科担任制による、様々な教員と関わる機会を充実。 ・「ペアトーク」など互いの考えを交流する機会を推進。	・トラブルが生じたときでも自分たちで対話を通して解決できるように、担任を中心に丁寧に対応してもらっている。 ・「ペアトーク」などの手立てがあり、自分の考えを伝え合い環境を整えている。	・主体的・対話的で深い学びを目指した授業づくりについて研修を重ねていく。 ・ICTを効果的に活用するなど、多様な伝え方を子供たちが経験した上で選択できるように仕組んでいく。
全市的に推進すべきこと	①いじめ防止対策に関する取組	子供たちのトラブルなどについて、職員間で情報共有し、複数名で多面的に対応する。	3	・早期発見・早期解決のため、迅速に職員間で情報共有し、組織的な対応を心掛ける。	・丁寧に対応していただいている。 ・アンケートのネーミングを再考してほしい。	・いじめのない学校づくりを最優先課題として取り組む。 ・職員間の情報共有を大切にし、泉台小全ての子供たちを全職員で見守り、育てていく姿勢をもち続ける。
	②不登校支援の取組	担任と校内サポートルームが連携しながら、組織的な支援を心掛ける。、	3	・校内サポートルームと連携しながら、組織的な支援を推進。登校できるようになった児童や教室に入れるようになった児童もあり、効果は出ている。今後も継続的な支援が必要。	・「ほっとルーム」の運用は、かなり効果があつたと言える。今後も継続して、支援体制を整えてほしい。	・誰もが安心でき、一人一人の居場所がある学校・学級づくりへの取組を継続する。 ・地域・保護者・関係機関との連携を取りながら、不登校児童へ多方面からのサポートが行えるような仕組みを整える。
	③「すぐ-る」の活用、ホームページにおける情報発信	学校情報の積極的な発信を通して、保護者や地域に学校の様子を理解し、協力していただく。	3	・可能な限りHPで発信。一方で閲覧者あまり伸びないため、多くの方に見ていただけるような手立てが必要。	・HPを通して、児童の様子を知ることができている。 ・アクセス数が伸びるように、共に手立てを考えていきたい。	・HPへの取組は継続し、魅力あるHPとして学校の情報を発信し続ける。 ・「すぐ-る」をさらに活用していくと共に、伝わりやすい発信方法を心掛ける。
	④学校生活のルールや決まり（校則など）について	ルールや決まりについて随時見直しを行い、児童が主体的にルールや決まりについて考える機会をもつ。	3	・多くの子供はルールやきまりの必要性を理解し、守ろうとする姿が見られる。見直しを児童や保護者、地域の方と共に計画的に進められるよう、見直しを持った取組が必要。	・令和7年度は、学校運営協議会や保護者会も積極的に参画し、児童の健全な成長につながるよう、共に考えたい。	・子供が主体の学校ルール作りに取り組む。 ・保護者や地域とも連携し、子供たちの規範意識を高めるかわりを広げていく。

【評点】4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：どちらかと言えば課題がある 1：課題がある